

2019年6月25日

三井化学株式会社

三井化学グループ、「ホワイト物流」推進運動に参画

～物流の生産性の向上と働き方改革の実現を目指して～

三井化学株式会社（所在：東京都港区、代表取締役社長：淡輪 敏）は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、自主行動宣言を「ホワイト物流」推進運動事務局に提出しました。

◆「ホワイト物流」推進運動とは

深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長への寄与を目的とする運動です。トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、女性や60代以上の運転者等も働きやすい「ホワイト」な労働環境の実現を目指します。2019年4月、国土交通省・経済産業省・農林水産省が、上場企業および各都道府県の主要企業約6,300社の代表者に対し、参加の呼びかけを開始しています。

◆自主行動宣言の内容

当社が、自主行動宣言のなかで表明している取り組みは以下の通りです。

取り組み項目	内容、期待される効果
予約受付システムの導入	トラックの予約受付システムを導入。待ち時間短縮に努めます。
パレット等の活用	パレット、通い箱等を活用。荷役時間を削減します。
入出荷情報等の事前提供	荷主からの入出荷情報をよりスピーディーに提供。物流事業者の準備時間を確保します。
高速道路の利用	高速道路の利用と料金の負担について、真摯に協議に応じます。
船舶や鉄道へのモーダルシフト	長距離輸送について、船や鉄道を積極利用。GHGガス削減に努めます。
荷役作業時の安全対策	作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じ、作業者の安全確保を徹底します。
異常気象時の運行の中止・中断	異常気象が発生した際や、その発生が見込まれる際には、無理な運送依頼は行いません。

今後、関係各位のご理解を得ながら、取り組み項目を拡充していく考えです。

◆当社グループのこれまでの取り組み

2016年より京葉臨海地区において、近隣の化学メーカーの参加を得て[サンネット物流株式会社](#)とともに小口製品の共同物流を開始、2017年には[山九株式会社](#)、三井・デュポンポリケミカル株式会社（現：[三井・ダウポリケミカル株式会社](#)）、[日本貨物鉄道株式会社](#)及び[株式会社丸運](#)とともに、国土交通省が進める「モーダルシフト等推進事業」の認定を受けております。また2018年には当社物流部が一般社団法人日本化学工業会の「レスポンシブル・ケア優秀賞」を受賞しております。

(関連する過去リリースのリンク一覧)

[京葉地区化学メーカーによる小口製品共同物流について](#)

[国土交通省より「モーダルシフト等推進事業」に認定](#)

[日本化学工業協会より「レスポンシブル・ケア優秀賞」を受賞](#)

「ホワイト物流」推進運動は、ESG 要素を経営や戦略に組み込む当社の取り組みの一環です。「ホワイト物流」推進運動を通じ、社会及び当社グループの持続可能な発展を目指します。

以上

<本件に関する問い合わせ> 三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 (TEL : 03-6253-2100)